

## 結婚学の研究 II

(男子学生が描く理想の母親像について)

古 澤 暁

### はじめに

母親は日常生活のなかで、子供に密着した生活をしている。もちろん、母親以外のひとびとも子供に接しているが、日常の生活という点から考えてみるならば、誰れよりも一番子供に密接な関係にあるのが母親であろう。そこに母親についての研究、母子関係についての研究が数多くあるのである。

結婚学の研究 I では、女子学生が描く理想の母親像について報告したがそこに描かれている女子学生の理想の母親像を現実のものとして展開するには、女性のみではそれを具現できるものではなく、それには、そのよき理解者となる男性（配偶者）の支持がなければ、それは具現されるものではないと考えるのである。

男子学生が描く理想の母親像は女子学生が将来の家庭生活のなかで、母親としての役割を担う女性の生き方を決めるための、一つの手掛となるだろう。

この研究では未婚の青年に対する結婚、家庭設計、生活設計についての教育、つまり、結婚学を考えるための一つの資料を得るためのものである。

### 研究目的

男子学生が描く理想の母親像についての資料を得ることにある。

## 研究方法

1. 調査方法：テーマ作文「理想の母親像(自分の配偶者としての)」について自由記述させた。  
氏名を記すことについては自由にさせた。  
(記名していたものは少なかった)  
平常の授業時間に記述させた。
2. 分析方法：自由記述された資料を課題意識、および、分析の視点を念頭におきながら精読することによって、項目をたてて分析をおこなった。
3. 調査期日：昭和46年7月
4. 調査対象：下関市内の大学生1・2年生の男子学生 81名。

## 調査結果

項目分析の結果は、頻数の多い項目順に列記すれば、次のようになる。

### 男子学生の調査

### 女子学生の調査

(短大1年生 167名、昭和45年2月調査)

母 親 像		母 親 像	
項 目	頻 数	項 目	頻 数
1. 良妻賢母……………	31	1. 理解のある母……………	77
○良妻賢母……………	18	○よき理解者……………	45
○内助の功……………	6	○信頼される母……………	17
○家庭を円満にする母…	4	○尊敬される母……………	10
○家庭にいる母……………	3	○子供の意志を尊重す	
2. 理解のある母……………	18	する母……………	5
○よき理解者……………	8	2. 教養のある母……………	74
○信頼される母……………	4	○人間らしく生きる母…	23
○子供の意志を尊重す		○教養ある母……………	13

る母……………4	○子供と共に……………13
○尊敬される母……………4	発展する母
3. 愛情のある母……………19	○自分の仕事をもつ母…10
4. 教養のある母……………18	○社会の動きについて
○教養ある母……………8	いく母……………7
○人間らしく生きる母…4	○趣味をもつ母……………6
○社会の動きについて	○子供の勉強を指導
いく母……………4	できる母……………2
○自分の仕事をもつ母…1	3. 良妻賢母……………60
○趣味をもつ母……………1	○賢母……………16
5. ヒステリーを	○良妻賢母……………16
おこさない母……………14	○家庭にいる母……………14
6. 美しい母……………10	○家庭を円満にする母…14
7. やさしい母……………9	4. 話し合える母……………44
8. しつけのできる母……………6	5. 愛情のある母……………32
9. 女らしさ……………5	6. 友人のような母……………24
10. 強い母……………5	7. 自分の母のような人…22
11. ハテ好み見栄ぼうで	8. 明朗……………6
ない母……………4	9. 健康……………6
12. 暴力をふるわない母…4	10. 子供の手本になる母…5
13. 話し好き……………3	11. 美しい母……………2
14. 友人のような母……………2	12. 姉妹のような母……………2
15. 清潔な母……………2	養育態度としては
16. 明朗……………2	1. 教育ママに……………34
17. 健康……………2	なりたくない
18. ぐちをいわない……………1	2. きびしさ……………23
養育態度としては	3. 自由にさせる……………15

1. 教育ママになって ほしくない……………17	4. のびのびと育てる……………10
2. きびしく、スパルタ式 教育……………13	5. やさしさ……………9
3. 自由にさせる……………8	6. 自律性……………7
4. 自律性を育てる……………6	7. しつけのできる母……………7
5. のびのびと育てる……………3	8. 社会的責任感……………4
6. やさしく……………3	9. ひろい心の持主……………3
7. 個性を豊かに……………3	10. つきはなす……………1
8. 人に迷惑をかけない 人に育てる……………2	11. 甘やかす……………1
	12. 素直な子……………1
	13. 実行力のある子……………1

この項目分析の結果から考えられる男子学生が描く理想の母親像は、良妻賢母、理解のある母、愛情のある母、教養のある母、美しい母、やさしい母、いわゆる母性として一般的にいわれている母親像を連想することができる。

養育態度としては、教育ママには絶対になってほしくないといっている。きびしいスパルタ式教育を望んでいる。また一方ではのびのびと子供を自由に育てることをも望んでいるのである。

例文1. 容姿端麗であるに越したことはないと思う。しかし一番望みたいのは夫に対しては内助の功を發揮し、子供に対しては母性愛を忘れないことである。

例文2. いわゆる「教育ママ」という様な存在であってはいけない。成績云々とか、進学がどうか、又、外見を気にするような母親は望ましくない。外見より中身という人間教育を子供にして欲しい。

例文3. 現在の世相では無責任な母親というのが問題になっている。子

供を生んでもそのままほったらかし、殺してみたり、自分の言うことをきかないから殺してみたり、こんな母親だけは否定する。

例文4. 母親たる者は、その子の教育に全力を尽して欲しいと思う。今は夫婦共稼ぎがはやっている様だが、経済的に許せば家庭内にもどって欲しいと思います。

例文5. 主人の思うとうり動き、子供に対しては、自由にさせてやる。主人より頭が弱い方がよく。以前働いていた会社の収入もすくない方がよい。

例文6. 子供を育てることについて母親としては、生まれた時から中学生ごろまでの道徳面の教育はある程度きびしく、その後は野ばなし状態にするのが良い。とくに性については子供を押えつけることはせず、小さい時から思春期の始めの頃はきびしく教え、思春期の後半の時は子供の心を理解して、そっと外から見守るぐらいがよい。しかし、何といっても母親のやさしさ。子供や家庭のためにつくすという母親であって欲しい。

例文7. 羽根をやすめるための暖かい大木であってほしい。

例文8. 女の役目は仕事に疲れた主人をいたわり、その主人の精神的疲労をいくらかでもやわらげ、少なくするために、家庭内を円満にする義務がある。

例文9. 母親にとっては親類とか、姑といった利害関係があって、悪く思っている、その考えを子供に言ったりしないように、中立的な立場で育てること。

例文10. 最近の街を歩く女性を見てると、この人達が将来子供を産み育てる事ができるのか。将来、日本の母親として立派にやって行く事が可能なのか、不安である。

例文11. 子供の考えを尊重して、よく理解してやる。美人であること（授業参観などで、はずかしくないよう）夫の欲求を満足させてくれること。

例文12. 母親としては、やはり父子と平等に世話しなければいけないの

---

ではないだろうか。

例文13. スパルタ教育を要求する。絶対に子供を甘やかしてはいけない。

例文14. 中学・高校となると異性への愛を感じはじめる時期であるが絶対に、その芽をつみとることなく、やさしく育ててくれることを希望する。勿論性教育は当然やるべきである。

例文15. 現代にいう教育ママではなく、自主性を重んじてくれる母を望む、子供が年頃（性に芽ばえる頃）になった時に異性の友人に対する理解のある母であってほしい。

例文16. 子供や夫が自分たちの友人等に進んで紹介できる人、ある程度ユーモアがあり、家庭を明るくする人、けじめのある人、さらに容ぼう容姿がよければ、だいたい合格。

例文17. 子供が物をこわしたりした時には、まず最初に「ケガをしなかった？」と聞くような母親であって欲しい。「高いものをこわして、この子は！」というようなのはイヤ。それから教育ママというのもきらい。もっと子供をおおらかに、のびのびと育ててほしい。

例文18. 自分で職を持って、子供の世話や家事を自分の第一の仕事と考える人。本当に言いきかせなければならないときは父親に頼らず子供をしかる人。自分の夢を子供に強制させるようなことのない人。母親がしかったあと父親がなだめるのではなく、父親がしかったあとで、なだめてくれる母親（あまやかすのではないが）。

例文19. 思いやりがあって、やさしい人、ある程度上品で教養のある人あまり感情的でなく、どちらかといえば、冷静であってかつ温和な人。

例文20. 要するに、明るくて、家庭を大切に、妻としては夫にやさしく忠実であればよい。

例文に見られる母親像は、昔ながらの保守的で封建的な女性の姿、男性に都合がいいように、家庭の中で、おとなしく生活をしている母親を考え

ている。

新しい女性、ウーマンリブの姿を理想とするものは、みられなかった。子供の失敗には、感情的に、ぐちっぽくなる母親でなく、理性的に対処する母親であってほしいと望んでいる。

思春期の子供の気持を理解することができる母親であってほしいとも望んでいる。

### 考 察

女子学生が描く理想の母親像と比較してみると、項目分析の点からみれば、女子学生は、理解のある母、人間らしく生きる、教養のある母、家庭を守る良妻賢母、愛情のある母、友人のように気楽に話し合える母、あかるい健康な母、子供の手本になるような母の順になっている。それに自分の母親のようになりたいたいともいっている。男子学生が描く理想の母親像は、良妻賢母、理解のある母、愛情のある母、教養のある母の順になっている。

第1位にあげられる項目に相違がみられるのは、男子学生と女子学生が描く理想の母親像に相違があるからであろう。男子学生が女子学生よりも保守的な母親像を描いていると考えることができるのではないだろうか。しかし、全体像としてみると、あまり大きな相違があるとは考えられなかった。

例文5にみられる母親像は、男性の女性観としてあるのではないだろうか。また例文4、6、7、8にみられる母親像は、妻は家庭を守る良妻賢母の母親像として、意識されているといえるだろう。それは日本の伝統的な母親像といわれている、子供や夫のためにつくすような母親像に期待をよせているともいうことができるだろう。

田代の「女性の職業経歴に対する男子学生の期待」の研究のなかでも、家庭では夫が主導権をとり、夫は家庭外の職場へ妻は家庭を守る伝統的分業的姿勢が見られるといっている。

---

福岡市の女性問題研究会がおこなった女子高校生の意識調査では、女子高校生の方が、その母親よりも家庭志向が強く、女性は家事に専念すべきである。育児は母親がすべきであるとの意識が強くみられるということを考えれば、男子学生が考えていることと一致する。

女性は家庭に帰れといわれているが、若い女性、若い男性の間に、それが意識されて、いぜんとして、家庭のなかの女でありたいし、そうしておきたいということであろうか。

子供のためなら、どんなつらさも我慢するというのは昔の母親で、今の母親は自分の幸福のために、夫も子供も平気で捨るという、母親の蒸発や母親の暴力が新聞紙上に報道されたりしているが、この調査では、これらを批判している。母親が責任を持って子供を育てることを望んでいる。

## む す び

男子学生が理想とする母親像は、やさしくて、育児、しつけができ、家庭をよく守り、家庭のなかにいる良妻賢母の母親である。

この調査に現われた母親像は、男子学生が理想とする、あくまでも、母親としては、こうあってほしいと望んでいる母親像である。次には、生活設計のなかに展開される母親の生活像について考えてみたいと思っている。

この調査は川島祝氏の協力によってなされたことを記して、感謝いたします。

## 文 献

古澤 暁 昭46 結婚学の研究 I 梅光女学院大学紀要 VI

山村 賢明 昭46 日本人と母 東洋館出版社

福岡市女性問題研究会 昭46 女子高校生の意識調査

田代 俊子 昭49 女性の職業経歴に対する男子学生の期待 日本教育心理学会第16回総会発表論文集。